

春日井写真同好会 第116回例会記録

平成20年5月13日(火)10:00~14:00
産技記念館・リタケの森・スパイラル

参加者

青木 小林
福田 堀田
間木 村田
吉田 7名



何を撮る？

それが今回の課題といえ小言が飛んできそう……。花フェス公園や木曾三川公園のバラが消えて、何故か決まった今回の行き先。でも、初めてという御仁が多いということで許されるかと。

昔々、カメラ雑誌で読んだこと。「写真になるネタはどこにでも転がっている。それを捕らえるのはレンズでなく、その人の感性……」といった意味の一文を思い出す。

また、「私の強い人には人の撮った写真の心が見えない。」といった一文も記憶に残る。哲学的な話であるが、不思議と心に残り、今も反芻することが多い。

ということで、それぞれどんな絵を見せて貰えるか次回の例会を楽しみにしたい。とはいえ、生意気にも産業技術記念館にもノリタケの森にも気を入れず通り過ぎる。

恒例になったランチを楽しむひととき。
今回は10年ほど前に訪ねたことのある名駅の木曽路。
運ばれてきた料理に、例によって一斉にカメラを向ける。



早速、吉田さんから料理のシーンモードで撮った一枚が送られてきました。

右は私が一眼で撮ったもの。今までの経験を織り込んで設定したものだが、



悲しいかな、並べて見るとまだまだだとNO！を突きつけられる。

一見、暖かくていいように思われるが、彩色とコントラストをよく見ると飛んでいることが判る。それがハッキリ判るのがイカ？の白と皿のパール色。勿論、WBをオートにしたり蛍光灯にしたり白熱灯にしてみたがやはり駄目。依然として脱帽のまま。

今後も挑戦が続くことになる。

四間道を断念

今回のコースにはカメラスポットの少ないことは承知で、その埋め合わせに、もし昼食後に余力があれば訪ねる予定にしていた四間道(シメジ)だが、エネルギーが残っている様子でもないので中止にする。名古屋市保存指定地区でもあり、歴史的にも曰くのある四間道なので、改めて、機会があれば訪ねることしたい。円頓寺商店街で庶民の味を味わって……。

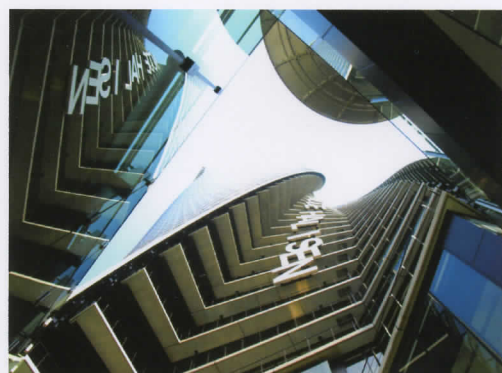
Spiral Towers

テクニカルの世界という感じ。そこでカメラアングルも幾何学的？にと判断〜チョット偉そうに構えて。



近年、超高層ビルが林立するようになって、直線・曲線の妙を捕らえた写真をよく目にするようになった。

とはいえ対象が巨大すぎて容



易には手に負えない。たまたま見つけた結構なスポットに久しぶりに興奮を感じる。

Spiral Towers は思いがけないモノも見せてくれた。右の絵は建物のガラス反射を取り込んだモノで、光の角度がたまたまタイミングが良かったモノと思われる。

地下一階だから撮れたモノで、こんな光の遊びは滅多にできないと……満足。

これは遊びかどうか、Spiral Towers の地下で面白いウインドウが目を捕らえる。何でもないレストランのウインドウだが表示されている値段がバラバラで、多分、店主の話題作りをしようという遊び心だろうと見えて嬉しい。

¥966、¥819、¥882、¥1113、¥1008、¥1029 etc.

@920、@780、@840、@1060、@960、@980 etc.

消費税5%を引くと赤字のようなすっきりした値段になり、お客にも店にも明らかに面倒で非効率だが店主の別の言い分が判る気がする。



次回、第117回の例会は

通例通り、今回の収穫を披露して戴くことになりますが、今回の様子では如何なモノかと。それを踏まえてかどうか判りませんが、新しい村田代表は「古い写真でも改めて披露して欲しい」と言葉がありました。過去の事例では、自然な気持ちで何気なく撮った一枚に、何とも言えない心が温まるモノを感じさせてくれたことがありました。

当然個人の好みによって受け取り方が違うでしょうが、構えて撮ると、良く撮れたナということはあっても、心が和むことは滅多にないと思います。できれば、こんなスナッフは？……と見せて頂ければ嬉しいと思います。

今ひとつ、テクに関する話をするようにと指示がありましたが、そんなオコガマシことはできるモノでなし、なにか引き出

してこようかなとは思っています。とはいえ、何があるか判りませんので期待はしないでください。



村田 電話↓

0568-81-8283

と き 平成20年6月10日(火)13:00~
ところ VEC3階 会議室